

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 772 号	氏名	梅林 真由美
学位審査委員		主査	小守 壽文
		副査	伊藤 公成
		副査	澤瀬 隆
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、臨床応用を目指す骨再生の device (GAM: gene activated matrix) を開発するものである。これまで行われてきた骨再生研究における問題点がわかりやすく述べてあり、改善するための方策の検討も十分であった。現在でも gold standard である自家骨移植に代わる骨再生法の探索として目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 臨床応用を目指す骨再生 device の開発にあたり、生体為害性のあるものを使用しない GAM を作製できるように設計されていた。plasmid の作製から始まり、材料の比較検討もしたうえで開発を行っていた。また GAM の効果を十分に示す解析が行われており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、移植後 4 週及び 8 週において実験群では新生骨が認められ、ウイルスベクターや遺伝子導入試薬及び細胞の搭載をしない GAM による骨増生が可能であることを示した。これまで GAM は線維芽細胞に遺伝子を導入すると考えられていたが、間葉系幹細胞や骨芽細胞の前駆細胞にも遺伝子が導入される可能性も示唆され、興味深いものであった。したがって、本研究の骨再生研究への進展および臨床応用が大いに期待できると考えられる。</p> <p>以上のように本論文は骨再生研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			